

特集

茨城の新銘菓が 今秋、新発売!

www.idpc.jp
とこよの國バナーをクリック

栗の品種はいろいろ

みなさん、栗っていろいろな種類があるって知ってました? だいたい、9月から早生品種が11月くらいから晩生品種が出回ります。通な人は早生より晩生が旨いとか、またはその逆が旨いとも。全国的に普及している「筑波」、皮が比較的剥きやすい「利平」などが有名です。ほかにも大粒の「石鎚」「国見」など、そして、茨城県は栗の生産量が日本一なんです。

茨城の栗を使った、あたらしい栗のブランドお菓子「とこよの國 いばらき ニッ栗」が9月より県内のお菓子店を中心に発売されました。これは、県内のお菓子屋さんや製造メーカーが所属する茨城菓子工業共同組合と茨城県、弊社が所属する茨城デザイン振興協議会がプロ

ジェクトを立ち上げ、ブランドのネーミングからパッケージやチラシ、のぼり旗などの企画・デザインに弊社も携わり、現在もプロジェクト進行中です。お菓子は「焼き菓子」「ぷりん」「餅」の3つのセットで、今年の全国菓子博覧会では名誉総裁賞を受賞し、その味はもちろんデザインが高く評価されました。茨城県のあたらしい特産品として、たくさんの人に食べてもらいたいと私たちは願っています。

茨城らしさを表現したい

茨城県には、様々な特産品といわれるものはたくさんあります。その土地から生まれる農産物や海産物、地場産業の加工品から生まれる付加価値。しかし、単においしいとか美しいとかで

は「売れる商品」にはなりません。経済を含めた社会全体がグローバル化する一方で、ローカル的なものを地域の独自性のあつた付加価値として磨くことが必要です。

発売されて約1ヶ月たった「とこよの國いばらき ニッ栗」の売れ行きが気になります。テレビでも9月9日にフジテレビ系列「ハピふる」で9月25日にはNHK「いばらきわいわいスタジオ」で放映されました。弊社がブランドお菓子プロジェクトに参加して約1年が経ち、他にも地ブランド企画はいくつか進行中です。いずれも、生産者の方々の情熱を一番良いかたちで表現するために、時代と社会を見据えた視野で広告デザインのノウハウがここに生きてきます。

お近くのお菓子屋さんをのぞいてみてください。のぼり旗があるお店が目印です。

全国菓子博覧会 名誉総裁賞文化部門受賞
いばらきニッ栗

とこよの國 KUNI

茨城県菓子工業組合

菓子職人 200人の智慧
栗は茨城にかぎる

IBARAKI Sweets Project

くめ納豆高級納豆「丹精」ブランドサイト www.tansei-710.com

商品と企業の双方を広告する世界初の納豆ブランドサイト!

丹精という納豆の食品機能をベースとした訴求ではなく、人の暮らしや風土に寄り添う「ライフスタイル」からアプローチ。日本人の琴線に触れる茨城の里山の暮らしや風土。それらは、今では残していくべき貴重な「日本の姿」となった。そのライフスタイルと丹精を重ね合わせることで、様々なコンテンツの切り口でブランドイメージの醸成を図る。

